KSKS わぁ~い

NO. 45 2022. 7. 24

shingakujuku2004@themis.ocn.ne.jp http://www.shinai.info 編集人

社会福祉法人

心愛

〒573-0146 枚方市大峰元町1丁目21-5 TEL 072-859-9194 FAX 072-859-9195



卓球競技のメダルを披露してくれました。 頑張りました~!!スポーツ大好き! 皆の拍手に素敵な笑顔。おめでとうございます!

80歳の壁

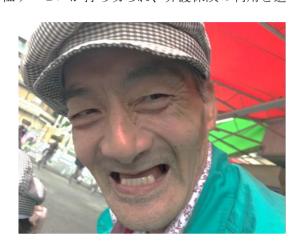
理事長 藤 澤 秀 治

障害者支援の分野で「65歳問題」を取り上げられることが多くなった。障害福祉サービスを受けている人が満65歳になるとそれまで利用していた障害福祉サービスが打ち切られ、介護保険の利用を迫

られるのだ。65歳になった障害者が不本意な支給決定 の取り消しを求めて市町村を提訴するケースも出てき ている。

心学塾でも遠からずこの問題に出くわすことになる。現在、心学塾で65歳問題の対象となるのは一人だけでまだ問題とはなっていないが、たびたび話題に上る。

利用者が65歳問題の対象となると、保護者も後期高齢者になっている。親亡きあとの利用者を支援する体制の構築も喫緊の課題となっている。



まだまだ若いもんには負けへんで一

いつもでも若いと思っていた私も、この「わぁ~い」が出るころには73歳、もう少しで後期高齢者の仲間入りだ。いま健康寿命の平均は男性72歳、女性75歳。健康寿命は健康でいる平均の年齢だが、もうこの健康寿命の平均を越えたことになる。だからロシアのウクライナへの侵略やまだまだ終息の見えないコロナも心配だけれど、いやでも「老い」や「健康」に関するニュースが気になる。そんな時、『80歳の壁』という本に出合った。体力も気力も衰え始める80歳の壁は高くて厚いが、それを乗り越える方法があるというのだ。

「人生とは何か」「幸せとは何か」。その答えのヒントは、子どもたちが何でもないことに夢中になったり、大笑いするように、歳はとっても「楽しむ能力」にあるという。楽しんでこその「人生100年」。嫌なことはやらずに好きなことだけをどんどんやる。食べたいものを食べていい、ダイエットはしなくていい、小太りくらいがちょうどいい。お酒も飲んでいい、ただしほどほどに。医者の言うままに薬は飲まなくていい、不調な時だけ飲む、薬は毒と心得よ。運動は無理しなくていい、散歩が一番。80歳を過ぎたらガンは切らない方がいい、一つとっても他の臓器にある可能性がある。学びをやめたら年老いる、行動は学びの先生だ。

この本に出合って、少し80歳の壁が低くなったような気がする。ゆっくりと今日を生きる。80歳の壁を越え、元気で「人生100年」をめざしましょう。

・参考 『80歳の壁』、幻冬舎新書、著者 老年医学・精神科医 和田秀樹

勤続 10 年表彰式!!

今年で勤続10年目を迎えられた5名が4月に表彰されました。

様々な問題に直面された事もあったと思いますが、10年という長い年月の勤続に感謝と尊敬の気持ちでいっぱいです。これからも、事業所間連携とチームワークを大切にしながら、メンバーさんを一緒に支えていきたいと思います!! (中村)

桜が蕾のころ、心愛の面接時の事です。笑顔いっぱいの娘さん達 5 人に取り囲まれ、「あなたの居場所はここよ」とばかりに両手を強く握りしめられました。あれから10年、無力ゆえ、周囲の方々に支えられた歳月でした。姥桜、まだ散るわけにいかずかな、、、です。 (山口 かつえ)

勤続 10 年ということで感謝状を頂き、ありがとうございました。本当に嬉しく思います。いくつかの職に就いた中では最長の勤続です。

これからも、一人ひとりのメンバー さんの事を考え、想い、支援致しま す。宜しくお願い致します。

(原 大輔)

スタート台に立った時、世話人 3 人でした。夜勤の男性の方は 4~5 人いらしたと思います。友人や知人に声かけし、今に至ります。楽しかったことは沢山思い出します。大変なこともあったと思いますが何かな~です。世話人も皆仲良く、10 年は早かったと思います。有難うございました。

(中井 志津子)

令和 4 年4月に勤続 10 年の表彰を 頂きました。10年前の3月に立ち上げ のホームに最初から関わらせて頂き、 沢山の思いが頭をめぐります。人懐こ い利用者さん達の日々の変化が見られ る感動、又親御さんからの声も感謝で した。いつも笑いの中でお仕事させて 頂きました。

(岩川 きわ)

小暑を控え、これから最も暑い時期となります。早いもので私がこちらの作業所に来て 10 年が経ち 4 月表彰して頂きました。体調も崩さず、仕事に来られたのも、職員さん、メンバーさんの協力があってのことだと感謝しています。今後共宜しくお願い致します。 (荒尾 小枝子)



(原・荒尾・理事長・山口・中井)

新しい仲間が増えました人

今年は、生活介護に 2 人。就労継続支援 B 型に 1 人のメンバーさんが春から通われています。それぞれ、個性にあふれた素敵な 3 人です。 就 B の河村さんはクッキー作りが楽しいと職員に言っていたそうで、パイの部屋を盛り上げるムードメーカーになっているそうです。

生活介護の赤松さんは、二コ二コ笑顔がすごく素敵な男性。仕事も何でも器用にこなされています。北村さんは、ダンスや歌が上手で沢山お話もしてくれます。家族が大好きといつも言っておられます☆

心学塾の先輩メンバーさんは、ソワソワしながらも、歓迎ムードで す。そこで、新しいメンバーさんのご家族の方からお話を伺いました。

クッキー作りが楽しいです



4月から就労B型でお世話になっている、河村 亜美の母です。学生生活から環境の変化に対応 できるか親の私達もドキドキしていましたが、 楽しんで作業に取組めているようで安心しました。 最近ではお喋りが出来る先輩が出来たよう で嬉しそうです。これからも亜美のペースで 色々な事にチャレンジして頑張ってもらいたい です。ダンスが大好きで小さい頃から習ってい ます。家では音楽を聴いています。LIVE に行く のも好きで最近は「ゆず」のLIVEに行ってきま した!こんな娘ですが、どうぞよろしくお願い します。河村



今年の3月半ばからお世話になっております、赤松大樹の母です。

大樹は変化がとても苦手で、今までの学生生活から作業 所への変化を乗り越えられるか心配でした。体調を崩した り、家で荒れたりはありましたが、スタッフさんに細やか な配慮をして頂いたり、利用者さんに声掛けてもらったり して、助けてもらいました。今は、毎日心学塾作業所へ行 く事がわかってきたようです。大樹は自閉症と重度の知的 障害があり、発語は少ないですが、人と関わるのは大好き です。自分からは難しいですが、みなさんと関わってお互 い笑顔になれたらとても嬉しいです。好きなものは、E テ レの子ども番組・しまじろう・おもしろ動画(最近はあたり まえ体操)・アルバムを見る・さんぽ・おやつです。

ご迷惑をおかけする事も多いと思いますが、親子共々どう ぞよろしくお願いします。 赤松





"ディズニーとダンスが大好きです"

初めまして。6年間枚方支援学校に通い、この春からお世話になっています、北村美桜の母です。就労につくにあたり、色々な作業所に見学・実習と行きましたが、決められず悩んでいました。心学塾に見学に来た時のスタッフさん・利用者さんの笑顔と日常の取り組みや手厚いサポートにとても惹かれ、その日のうちに"ここに!!"と思いました。毎日笑顔で帰ってくる美桜さんを迎える度、"良かった"と心から思っています。気持ち・行動の切り替えがまだ苦手で周りの方に迷惑かける事も多いかと思いますが、笑顔いっぱいでずっと過ごしてほしいと思います。どうぞよろしくお願い致します。





♪音楽療法月

音楽療法とは、音楽を通して社会性を養ったり、音楽活動を する中で意欲的に取り組む力を養って貰えたらと活動していま す。

また、精神的な安定を得ることで、感情のコントロールに繋げられたらと考えます。

毎月1回1時間、その中でプログラムの1つ1つに様々な目標を設定しています。例えばメンバーのFさん、参加当初は別室でスタッフさんにベッタリでした。部分的にスタッフさんと参加していたのですが、1年以上が経過し今では1人で参加出来るようになりました。とても楽しんでいるのがわかります。私達TH(セラピスト)は、共に楽しみ援助していきたいと考えています。

今後ともよろしくお願い致します。

(音楽療法 仲田 美貴子・佐藤 弥愛)



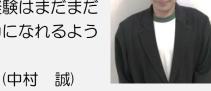
異動の報告

令和4年6月からグループホーム「ゆう友の家」に異動致しました平野 雅史です。一人ひとりの利用者さんの個性を理解し、尊重し、食事等の支援を行ない、生活を支えたいと思います。 今後ともよろしくお願い致します。

(平野 雅史)



令和4年4月より就労継続支援B型の職員に就任した中村 誠と申します。昨年の6月より社会福祉法人心愛「ゆう友の家」世話人として入職し、現在に至ります。福祉に関しての経験はまだまだ浅いですが、メンバーさんの自立支援、社会参加の力になれるよう尽力します。今後とも宜しくお願い申し上げます。



第32回 ふれあいスポーツ交流会 実行委員会

2022 年 10 月 8 日 (土) 開催のふれあいスポーツ交流会に向けての、第 1 回実行委員会が 7 月 12 日 (火) ラポールひらかたにて開催されました。今年の実行委員は Y さんになり、少し緊張も見られましたが、やる気満々!会議が始まり、自己紹介!まだ慣れない為か小さい声でしたが、きちんと所属とお名前を言葉にしていました。実行委員長と副実行委員長を決める際には、「誰かしたい方いませんか」の問いかけに誰も答える事なく「シーン・・」。では、先に副実行委員長を決める事になった時に Y さんが、こっそり「俺、委員長しよかな」と打ち明けられ、「手を挙げてやりますと言ってみたらどうですか」と職員がサポートする



と、積極的に手を挙げ「実行委員長やります」と堂々たる様子で発言されました!その後、司会 進行をする事になり、声もだんだん自身に満ちた声になり、上手に実行委員長としての仕事を頑 張られていました!会議や本番と、これから大変ですが、彼が楽しんで出来るように陰ながらサ ポートしていきたいと思います。

共同募金協力型自販機設置について

令和3年9月24日付で社会福祉法人大阪府共同募金会から共同募金協力型自販機設置協力依頼があり、社会福祉法人としての本来的な役割を果たす為、令4年1月21日にアサヒ飲料(株)と3年契約を結び設置する事としました。自販機の売上げの一部が共同募金に寄付され、「障がい者の自立支援」や「子育て支援」、「高齢者の見守り活動」などの福祉活動に貢献されます。



写真右側: 大阪府共同募金会常務理事 林田 潔 氏

虐待防止委員会設置について

厚生労働省は、令和3年度報酬改定において「障がい者虐待の更なる推進」に関し、努力義務だった「従業者への研修実施」「虐待防止委員会設置に加え検討結果を従業者に周知徹底」「虐待の防止等のための責任者の設置」を令和4年度より義務化された事により、本法人においても「虐待防止委員会運用指針」を制定し、委員会を設置致しました。また、虐待防止委員会は定期的に開催する事とされております。この度の委員会設置により、虐待の未然防止や虐待事案発生時の検証や再発防止対策を徹底し、メンバーさん、保護者の方々が安心して利用できる法人運営に努めさせて頂きます。

寄付金をいただきました。

紙面をお借りして心より御礼申し上げます。(敬称略・順不同) 2021 年 12 月 17 日~2022 年 6 月 17 日

鳴津 徹/ 桑田 茂樹/ 伊瀬知宣朗/ 江田 勝彦/ 池永 満生/ 植木 廣高/ 橋本 登代子/馬渕 智生/心愛 後援会/伊瀬知 貞夫/橋本 宣次/ 松下/

高田 由美子/藤澤 秀治/森 泰夫/

七夕の願い ~親密感と孤独感~

近所の広場で七夕の笹が2年ぶりに飾られているのを見つけました。うれしい思いで近づくと、ひと際大きな短冊に、「もっとたくさん友達と会えますように」と綴られていたました。日常が戻りつつあるように見えても、この願い事の様にそうでない部分もあるのだと、いまの社会の動きと人の生活のアンバランスさを垣間見た気がしました。

こんな時、不安や寂しさから孤独感を抱えやすくなったりもします。「孤独感」はマイナスのイメージがありますが、それについて少し考えてみました。思い出されたのが先日の朝礼の事です。「作業所内でみんなと同じ空間に入るのが苦手なメンバーさんや、少し離れて過ごすメンバーさんが居られても、孤独感を感じないような支援や配慮を心がけて下さい。」と施設長からのお話しでした。それを聞いて、自分も誰かに対してそうありたいと心に留めつつ、そんな対応をされている職員さんには、一保護者としても頭が下がる思いでした。

みんなと離れていても自分の事を気遣い、大切に思ってくれる人がいる。ここ(作業所)が自分の居場所で仲間がいるという安心感。メンバーさんがそんな思いを持てればまさに心の拠り所となるでしょう。このことは総じて「親密感」として心に刻まれて「孤独感」に作用し、心の成長につながっていきます。

人との関りでは時に傷ついたり、嫌な思いをすることもあります。根本は「自分と相手は違う」という孤独感をもってしまうことなのですが、人は再び人の愛情や、やさしさを求めて親密感を満たそうとします。この孤独感と親密感を繰り返し体験するプロセスが成熟した人へと育んでいきます。取り分け親密感が溢れるところでは、誰も傷つくことのない癒しの場所になるでしょう。そんな地域や社会が拡がることを願って七夕に託しました。

ピアカウンセラー 林 裕子

グループホームの世話人さん募集してます!!

基本的には家事や利用者さんの支援が中心の業務になります。利用者4人の小さなアットホームな雰囲気で本当の家族のような職場です。

詳細は心愛(072-859-9194)までご連絡してください。

8・9月の予定

- 8/6 (土) 土曜開所
- 8/11 (木)~17日(水)夏期休暇
- 8/19 (金) 市役所バザー
- 8/20 (土) 土曜開所
- 8/26 (金) 市役所バザー
- 9/9 (金) 市役所バザー
- 9/10 (土) 土曜開所
- 9/16 (金) 市役所バザー

●○編集後記○●今年度は勤続 10 年になる職員の方々が、たくさんいらっしゃいました。働く人の出入りが激しいと思われている福祉関係の仕事ですが、心学塾で働く方は長く続けられる方が多いです。これもきっと、メンバーさんたちの魅力と働きやすい環境のおかげと思います。これからも、風通しの良い職場作りを心がけながら、頑張ろうと思います。 中村・津銭・渡加